

施政方針



うるま市長
島袋俊夫

1 市政運営の基本姿勢と昨年の振り返り

本日、第121回うるま市議会定例会が開催されるにあたり、平成30年度予算案をはじめとする各議案の説明に先立ちまして、私の市政運営に対する所信と主要事業の概要を申し上げます。

昨年4月の市長選挙では、これまで進めてきた市政運営が評価され、今後の市の発展に期待して付託されたと受け止めており、これまで以上に各施策に全力で取り組み、市民の皆さまの信頼と期待に応えなければならぬと決意を新たにいたしましたところであります。

3期目の市政運営につきましても「うるま市はひとつ・市民協働のまちづくり」をスローガンに、本市の将来像である「愛してます 住みよいまち

うるま」の実現のため引き続き3つの基本目標に取り組んでまいります。

1つ目の目標である「**経済の活性化と失業率の改善**」については、「産業振興計画」「観光振興ビジョン」「農業振興ビジョン」に基づき、商工業、観光業及び農業分野の経済振興策に取り組みとともに、新たに水産業の振興に向けて「水産業振興計画」を策定し、地域経済の活性化を図っているところであります。

また、さらなる産業基盤の形成を図るため、企業立地の今後の可能性を含めた市内の産業基盤の在り方について検討するとともに、石川インターチェンジ及び石川多目的ドーム周辺地域における新たな地域経済の活性化について取り組んでまいります。

本市の完全失業率は平成22年の18.2%から、平成27年は7.5%へと10%以上の大幅に改善されましたが、平成29年度も約1千人を超える新規就業者を見込んでおり、引き続き「失業率の改善」については、これまでの事業を継続し、「働く場の確保」、「ミスマッチの解消」、「就業意欲の向上」の観

点から取り組んでまいります。

2つ目の目標である「**教育・子育て支援の拡大**」については、学校施設整備事業として、勝連小学校増改築事業を進めており、今年5月頃の完成を予定しております。

また、赤道小学校、宮森小学校の実施設業務に取り組み、子どもたちの安全を確保するため、校舎等の整備事業にも取り組んでいるところであります。

子育て支援については、待機児童解消のため保育施設や小規模保育事業所の新たな整備に取り組み、子ども子育て制度の改正のあった平成27年4月から907名の定員確保を行ってまいりました。

さらに、県内では初となる石川中学校の空き教室を利用した「小規模保育事業所」の開所に向けて取り組んでおります。

また、保育士確保については、国や県の制度を活用した家賃補助事業等のほか、ハローワーク沖縄と連携した合同求人説明会の開催や市独自の潜在保育士向けの補助事業を実施し、安定的な確保に努めております。

放課後の児童の居場所については、本市で初めてとなる学校施設に隣接した南原学童クラブを開所したほか、新たに公設学童クラブ3カ所の開所に向けて取り組んでおります。